

決算説明会資料

2024年9月期 通期

アクセルマーク株式会社(東証グロース:3624)

2024年11月14日

1. 2024年9月期 通期業績概要

2. 今後の戦略について

3. 2025年9月期 業績予想



2024年9月期 4Qサマリー

売上高

250 百万円

(前四半期: 354百万円)

営業
利益

▲92 百万円

(前四半期: ▲100百万円)

当期
純利益

▲98 百万円

(前四半期: ▲245百万円)

EBITDA

▲92 百万円

(前四半期: ▲92百万円)

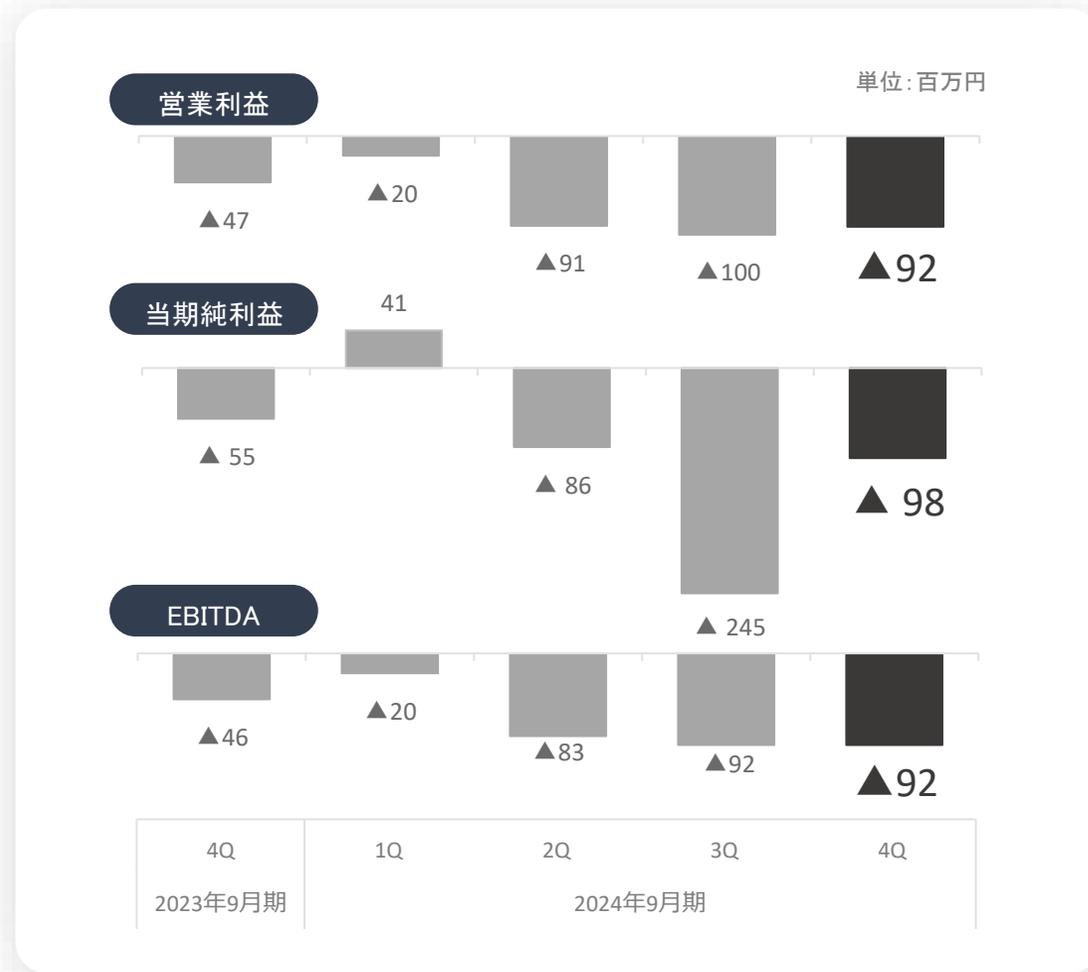
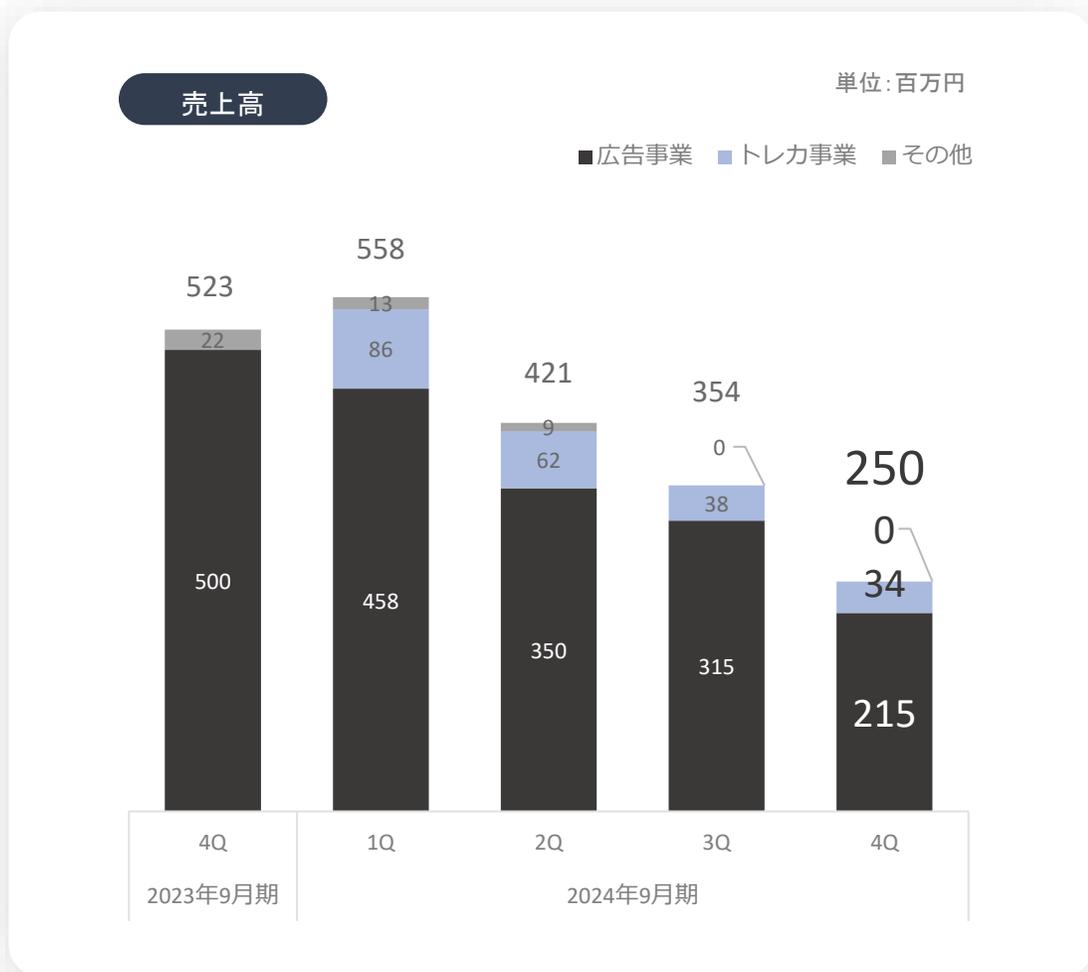
□ 事業概況

- ・広告事業は、事業環境の悪化や一部大口顧客の広告予算縮小の影響が続き、売上高が大幅に減少
- ・トレカ事業は、事業の旗艦店となる1号店の物件を決定し、2025年9月期2Q中のオープンに向け準備中
- ・ヘルスケア事業は、柔軟かつ迅速な事業展開のため、当社100%子会社アクセルメディカ株式会社を設立(2024年9月)
- ・IoT事業は、積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」の来シーズン導入拡大に向けて、営業体制を強化
季節に左右されず、1年を通して導入可能な新たな商材を開拓中

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

業績の四半期推移

広告事業は、2024年9月期に入り、主要顧客であるの電子書籍及びゲーム領域のインターネット広告需要が減少したことによる影響が大きく、売上高は減少傾向



損益計算書四半期推移

事業環境悪化による影響で売上高は減少傾向にあるものの、
コスト構造の見直し等の利益率改善に向けた施策を進めた結果、当第4四半期は利益率が改善

単位:百万円

	当期			当期	QonQ 差異
	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	558	421	354	250	▲104
売上原価	490	402	362	240	▲122
売上総利益	67	19	▲7	10	+17
販売費及び一般管理費	88	110	92	103	+11
営業利益	▲20	▲91	▲100	▲92	+8
営業外収益	61	4	0	▲8	-8
営業外費用	0	1	0	0	+0
経常利益	40	▲88	▲101	▲101	+0
特別利益	1	1	1	3	+2
特別損失	-	-	145	0	▲145
税引前当期純利益	41	▲86	▲245	▲97	+148
法人税等	0	0	0	0	+0
当期純利益	41	▲86	▲245	▲98	+147
EBITDA	▲20	▲83	▲92	▲92	+0

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

損益計算書概要(通期比較)

2024年9月期は、広告事業の急速な事業環境の悪化に対応が間に合わず、売上高が減少となったが、今後の成長が期待できるトレカ事業が本格稼働しており、事業拡大に向けた様々な施策を実行中
また、利益率が高いヘルスケア事業の推進に向け、体制構築が完了

単位:百万円

	2023年9月期 通期実績	2024年9月期 通期実績	YonY 差異
売上高	2,144	1,584	▲560
売上原価	1,923	1,495	▲428
売上総利益	221	89	▲132
販売費及び一般管理費	320	394	+74
営業利益	▲98	▲305	▲207
営業外収益	4	56	+52
営業外費用	6	1	-5
経常利益	▲100	▲250	▲150
特別利益	5	8	+3
特別損失	6	145	+139
税引前当期純利益	▲101	▲387	▲286
法人税等	0	0	+0
当期純利益	▲102	▲388	▲286
EBITDA	▲95	▲289	▲194

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

貸借対照表概要

2024年第3四半期に、ソフトウェア及び共用資産の減損処理を実施し、有形固定資産及び無形固定資産が減少

単位: 百万円

	2023年 9月期 4Q末	2024年 9月期 4Q末
流動資産	1,182	674
現金及び預金	906	510
売掛金	188	65
その他	88	97
固定資産	240	250
有形固定資産	11	-
無形固定資産	99	-
投資その他の資産	129	250
資産合計	1,422	925
自己資本比率	59.5%	49.6%

	2023年 9月期 4Q末	2024年 9月期 4Q末
流動負債	211	99
買掛金	162	58
その他	49	41
固定負債	356	358
転換社債型新株予約権付社債	356	358
その他	-	-
負債合計	568	457
資本金等	946	946
利益剰余金	▲102	▲490
新株予約権	6	8
その他	2	2
純資産等合計	854	467
負債・純資産等合計	1,422	925

1. 2024年9月期 通期業績概要

2. 今後の戦略について

3. 2025年9月期 業績予想



今後の戦略について(資金調達目的)

資金調達目的

成長戦略として、広告事業を収益基盤に据えつつ、トレカ事業とヘルスケア事業の成長性や収益性を活かした事業展開を推進することで高収益体質への転換を図る

この成長戦略を加速させるため「トレカ事業の拡大」および「ヘルスケア事業の拡大」を目的とした資金調達を実施

資金使途

① トレカ事業拡大における新規出店及びECサイト構築等に関する費用	400 百万円
② M&A及び業務提携等に関する費用	616 百万円
③ ヘルスケア事業拡大における事業推進に関する費用	175 百万円

今後の戦略について(成長戦略について)

成長戦略を遂行し、グロース市場が求める高い成長性を実現
高収益体質の構築および企業価値の向上を図る

成長戦略①

トレカ事業の拡大

店舗ならではの体験とECサイトでの利便性を融合させることで、
顧客接点を拡大し事業成長を加速

店舗展開

全国に設置された自動販売機のデータを分析、
最適な出店計画に基づく多店舗展開を図る

EC展開

インターネット領域における広告事業で培ったウェブマーケティング力と
システム開発力の強みを活かした、オリパ専用サイトやアプリ開発などを計画

成長戦略②

ヘルスケア事業の拡大

ヘルスケア領域を推進する事業会社として完全子会社アクセルメディカ株式会社を設立
医療機器製造販売業許可(申請中)等を活かし感染症プラットフォームの早期実用化を目指す
とともに、アライアンスやM&Aなどの戦略的な拡大により迅速かつ幅広い事業展開を図る

今後の戦略について(M&A、アライアンスの推進)

事業を成長軌道に乗せるため、積極的にM&Aやアライアンスなどを推進

- **トレカ事業**

知見やノウハウを最大限に活用し、エンターテインメント分野におけるトレカ事業周辺領域での更なる事業拡大を図る

- **ヘルスケア事業**

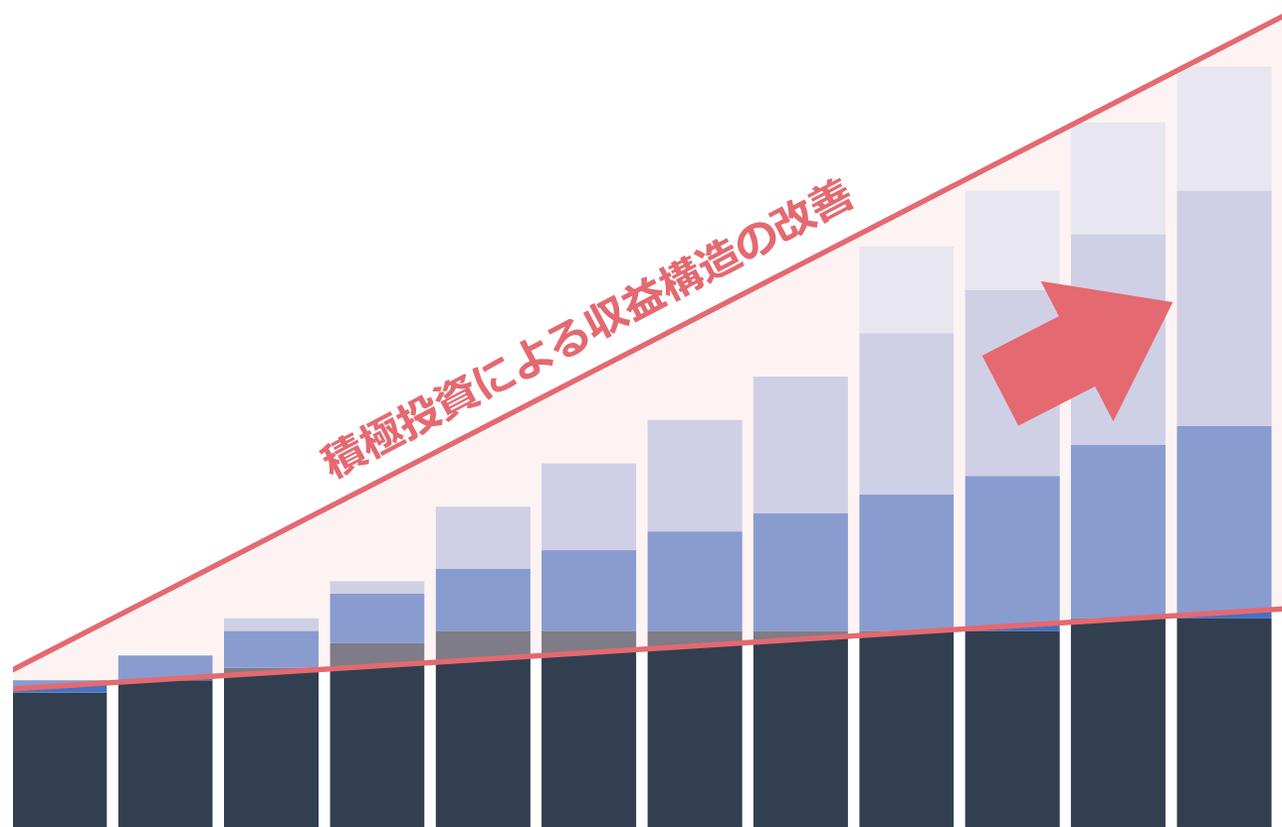
ヘルスケア領域で新たな事業展開を目指すジーエフ社※と、医療機器製造販売業許可等を取得予定の当社が新たなサービスや機能等を共同で推進することを検討

※ジーエフ社：G Future Fund1号投資事業有限責任組合（ジーエフ社出資）より、P9記載の資金調達を実施



今後の戦略について(収益構造の改善に向けて)

成長戦略に基づいた積極投資による収益構造の改善



M&Aおよび資本・業務提携

既存事業の強化や新規事業の開発等を可能とする企業との事業成長を見込む

IoTヘルスケア事業

今後の成長分野として収益を見込む
社会課題の解決に対しても貢献

トレーディングカード事業

市場&シェア拡大による収益を見込む

広告事業

安定的な成長を見込み会社の収益基盤 &
事業投資により事業成長を見込む

※M&A及び資本・業務提携に関しては、現時点において具体的に計画されているものではありませんが、適宜検討を実施してまいります。

注力事業① トレカ事業の状況

池袋エリアにて、2025年9月期2Q中の出店に向け準備中

自動販売機ビジネスに加え、実店舗展開(販売×買取体制構築)により更なる事業拡大へ

- 池袋駅東口エリアに1号店をオープン予定
デュエルスペース(カードゲームプレイスペース)と物販スペースを融合させ、顧客体験を最大化
- 各展開に対し、必要な経営資源の投入を進める
ECサイト展開や店舗網の拡大など、より一層の事業推進スピード向上のため経営資源を投入し、事業拡大を図る



自動販売機展開
事業のベース構築

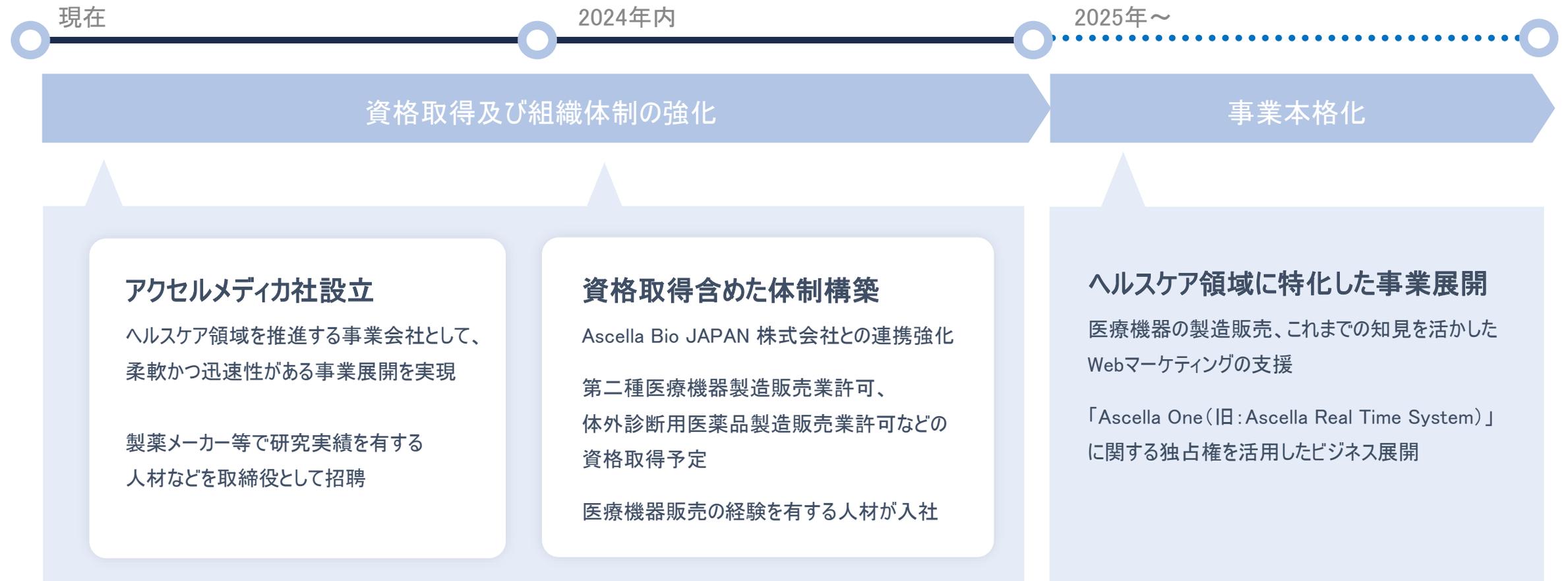


店舗展開
販売×買取体制構築



注力事業② ヘルスケア事業の状況

当社100%子会社としてアクセルメディカ株式会社を設立(2024年9月)、医療機器製造販売許可の年内取得を予定
他社との連携の展開も視野に、経営資源の投入を計画



※Ascella One:PCR検査と同等以上の高い検出感度・特異性を持ち、約6分で迅速に性感染症を始めとした様々な感染症の原因となるウイルスや細菌を検出可能とする技術

1. 2024年9月期 通期業績概要
2. 今後の戦略について
3. 2025年9月期 業績予想

2025年9月期 業績予想

広告事業を収益基盤に据えつつ、

トレカ事業とヘルスケア事業の成長性や収益性を活かした事業展開を推進することで高収益体質への転換を図る

単位：百万円

	2024年9月期 通期 実績	2025年9月期 通期 予想	YonY 差異
売上高	1,584	2,310	+726
営業利益	▲305	▲169	+136
経常利益	▲250	▲181	+69
当期純利益	▲388	▲181	+207

※保守的に見込み、資金調達の資金使途である

トレカ事業による多店舗展開、M&A、ヘルスケア事の共同事業推進による収益見込みは反映しておりません。



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>